

# 幸手市市民会 青年部

## 第18回ハッピーハンドフェスタ

がんばろう日本！ 幸手市民まつり

東日本大震災復興応援イベント

第18回幸手市民まつりにご来場ならびに出演・出店のご協力を頂きました方々、イベント開催にあたりご協力、ご協賛頂きました関係各位の方々、出店者・ご来場者として見守って頂いた青年部先輩方には心よりお礼申し上げます。

今年度の市民まつりは、会場が現在の中央通りに移ってから5周年目であり、東日本大震災で被災された方々と被災地の復興支援を踏まえ、『地域への貢献と感謝』、『笑顔』、『考動・結束・経験力』、『今、自分達が出来ること』を常に意識し取り組めるよう努めました。

今後を見据え青年部の恒例にしていこうと、「サツテリア」と銘打ち、美味しいホットドックを食べて頂こうと取り組み200食を完売した部員達、今年始めて実施したキッズチャレンジでは、子供達に笑顔で楽しんでもらえるよう、5つの担当ごとに創意工夫を凝らし約七百名の子供達と笑顔で触れ合った部員達。



度重なる会議を経て、試食・リハーサル、そして当日の開催に至る中で、部員一人一人が自分の役割の中でしっかりとした意識を持ち、運営・担当・復興支援スタッフとして、最高の努力と最高の笑顔を発揮してくれた仲間達を本当に誇りに思います。

今回復興支援ブースを設営するにあたり、一人の部員が手にした「南三陸町から」という写真集のパンフレットという小さな繋がりから、南三陸町で写真館を経営し、震災後から被災現場を撮影し続けている佐藤信一さんと知り合う機会を頂きました。佐藤さんも地元青年部で部長を経験されていて、撮影された写真の使用を快く承諾して頂き、市民まつりでの復興支援に対し本当に感謝して下さっていました。震災から約7ヶ月経ちますが、同じ日本に住んでいる被災地の方々と私達、同じ時の流れを刻んでいるのでしょうか。

『少しでも、今私達に出来る事を・・・』その気持ちと行動の大切さに触れる事が出来ました。市民まつりを通じ本当に多くの方々のご協力の下、私達は貴重な経験をさせて頂きました。ご来場頂いた皆様に少しでも『笑顔という花』が、被災地の方々に少しでも『笑顔という種』が届けられていたら幸せです。そして、この経験を活かし来年より多くの方に『笑顔』を届けられるよう最高の仲間達と笑顔で努力し続けていこうと思えます。

青年部部長 (有)石塚設備 石塚輝実

## 東日本大震災復興支援ボランティア活動

9月25日の日曜日に、青年部としては2度目の、東日本大震災復興支援ボランティア活動を行いました。大久保親睦委員長を筆頭に、青年部員11名、応援2名の総勢13名で参加して来ました。

私は初めての参加でしたが、高速道路を降りて一般道を1時間程走り、活動を行う宮城県の上原町に入ると、一般道は景色も道路の舗装も至って普通で、普通に営業している車の交通量もそこそこあり、ニューズなどで見た被災地の惨状から半年程たった今、どの程度復旧しているのか想像もつかない私としては、もうボランティアは必要ないのではないかと思つた程普通の風景でした。しかし、海岸の方に近づくにつれて、工事の道路や窓などの建物と、一部が瓦礫の山や、稲穂のない田んぼなど、被害の大きかった範囲は、全然復旧作業が進んでいないのが現状でした。

山元町の役場で手続きを済ませた後、ボランティアセンターの方に連れられ、今回お世話になるいちご栽培農家さんに着くと、間口100m、奥行50m程の大型のビニールハウスを、業者の方が修復作業を行つており、私達は補助的な作業をしてみたいとの事で、その内容はハウスに被せるビニールの端を埋めて固定するための溝掘り作業と、屋根の開閉部分の防虫ネットとビニールを張る作業でした。

時間にして9時くらいから3時半までの作業予定でしたが、気温も高かつたため、1時間ほど残して作業が終了し、畑の草むしりも行いました。その作業中に依頼主から直接お話が聞けたのですが、元々山元町はいちごの有名な産地で、町内に二百件ほどのいちご栽培農家がある中で、復旧作業を行い、栽培のめどが立ちそうな農家が7、8件ほどしかない事や、津波により建物の1階の天井近くまで浸水し、瓦礫や土砂が流れ込み、ボランティア活動により瓦礫や土砂が復旧出来た事など、震災直後の大変だった様子を話して頂きました。

作業を終えた後、依頼主からお礼の言葉と、「クリスマスには間に合うように収穫できる予定なので、ぜひまた山元町に来て下さい」とのお言葉を頂いた時に、うまく言い表せませんが、一人では何も出来ないけれど、部員同士で協力して作業を行った結果、依頼主のお役に立つ事が出来たのではないかと思います。

今回参加して、まだまだ被災地での復旧作業において、人手は必要だと感じました。しかし青年部のこの企画がなければ、個人で被災地のボランティア活動に参加する事はなかなか出来る事ではない心の通った部員同士の結束力があつたからこその、あつただけの作業を行うことが出来たのではないかと思いました。機会があれば、私はまた参加するつもりですが、ボランティア活動を通じて何か感じたり、気が付く事が多々あると思つたので、行ったことのない部員の方にもぜひ参加していただきたいと感じました。

今回参加させて頂いて本当にありがとうございました。

青年部副部長 埼玉建販(株) 川尻一哉

## 第8回埼玉県東部地域救急フェスタ

9月24日、アスカル幸手で救急フェスタが開催されました。幸手市、白岡町、杉戸町の消防署が合同で行っているもので、心肺蘇生法、AEDの使用法、などの講習を受けてきました。

数名のグループに分かれての講習では、講師となった救命士の方にいろいろな状況での対応など、直接質問ができたのでとても勉強になりました。いままでもそういう場面に居合わせたことはありませんが、今後遭遇した時はこの講習を思い出し、あわてず対処できそう？な気がします。

救命方法も少しずつ変わっているようなので、一度受けた方も定期的に受講されるのもいいかもしれませんね。

青年部副部長 益山商事(株) 益山雅男



### 愛の献血活動

先日9月14日(水)中央商店会駐車場及び勤労福祉会館にて幸手市商工会青年部の毎年恒例事業の一つ、「愛の献血活動」が研修委員会主管で実施されました。今回の献血では受付49名その内、献血実施者42名という結果でした。

埼玉赤十字血液センターの方々も、半日でこれだけの成果が得られたことに驚嘆すると共に、とても感謝していました。

多くの青年部員に参加協力してもらえただけでなく、個別に参加推進の連絡をして頂いたおかげで、このような成果が得られたと思います。私も今回は、400ミリリットル献血に協力しました。現在、血液は人工的に作成することが出来ず、長期保存も出来ません。手術等で必要な輸血用血液を常時確保するには、私達を含む誰かからの血液が絶えず必要なのです。こんな身近でも可能な、そして大切な、心温まるハートフル・サポートをこれからも心掛けていきましょ

(内訳) 400 ml 献血 39名、 200 ml 献血 3名

(血液型別) A型 12名 B型 14名  
O型 14名 AB型 2名

皆さん協力ありがとうございました。 研修委員、監査委員 木村工業(株) 木村 則之



### 第4ブロック中地区 青年部有志ゴルフコンペ

9月4日、鼻ゴルフ鹿沼コースに行つて来ました。台風の影響で天候が心配でしたが、一時的に降った程度ですみ、楽しいゴルフができました。

また懇親会は、はず沼さんで行い杉戸、白岡の商工会青年部員の方たちと交流を深めることができ、とても有意義な時間を過ごせました。

総務委員 小澤電気設備(株) 小澤 浩二



### 市内美化活動

8月27日、幸手駅より国道4号線交差点まで、美化活動を行いました。

ご参加頂きました皆様、ご協力ありがとうございました。この事業は、少しでも自分が住むこの街が美しくありたいという気持ちと、美しい街にしたいと思う情熱を繰り返し継続していく事で、これから先より良い街づくりの足掛かりとなる事を願って始めた事業です。

地道な活動ですが、胸を張って自分の街を綺麗にするという自負心を持ち、今後もしつかりと取り組んで行きたいと考えております。

引き続き皆様のご協力をお願いすると共に、美しい街づくりを一緒に考えて頂ける方が一人でも多くなる事を願っております。

研修委員長

(有)倉繁ふとん店 倉繁 誠



### 交通安全パレード

9月17日(土)幸手市役所から商店街を幼稚園生の鼓笛隊、中学生のプラスチックバンドを先頭に、秋の全国交通安全運動の一環として恒例の交通安全パレードに参加しました。当日は多くの団体が参加し、軽快なプラスチックバンドの演奏と共に市内をパレード、沿道に駆けつけていただいた沢山の市民の皆様と交通安全の意識を再度確認できたと思います。事故はちよつとした間が命取りです。皆さんも安全運転こころがけましょう。

総務委員長

VCherairar sution 岩野 義久



### 2011 県青連コラム

落葉の季節を迎え冬の訪れは間近ですね。年末年始のお酒の飲みすぎ、体調管理には節度をもって行動していきましょう。

先の関東ブロック大会での菖蒲商工会青年部、堀部君の全国大会出場の前報は、埼玉県中に響び、そして感激を運び込みました。幸手市からも石塚部長を中心に、多くの部員の皆様にご参加頂き、堀部君本人からもアウターの地でも、心強かりがとごございました。

私も参会し、出場者の生の声を聞いてきました。やはり「すごいな」と思いました。青年部活動、家業、地域活動、それぞれにおいての感動と苦節の活動が主張者それぞれの10分間に所狭しと凝縮されていきました。学び得ることの多さに、単会のメンバーに聞かせてあげたい、本当にそのように思いました。

そして、いよいよ各地区ブロックを勝ち抜いたファイナルラウンド、全国部員大会和歌山大会は平成24年2月6日、7日です。時間のある方は是非ご参加ください。必ず、自分に必要な、ここでしか見付けられないヒントを、全国からの生きた主張から発見できるはず。そして出会いがあります。

私はブロックに向向している傍ら、菖蒲商工会青年部と交流し、お話しする機会がたくさんあります。菖蒲といえは部長単年制です。事業の実行委員長も次から次へと若いメンバーが大きなバトンを受け継ぐように、担当をこなして行きます。

経験豊かなメンバーがそれをサポートしていきま。役職が人を育てるそんなことを実行している単会だ、というイメージがあります。近年事業を担った部長がいきいきとその活動を主張に置き換えて発表してゆく、その積み重ねが賢人堀部君のなかなと思えました。

幸手の部員は多いです。活気があります。しかしながら一人一人がそのメンバーの多さに埋もれてはいけません。自ら自分のステージを取りに行く貪欲な姿勢が必要だと思えます。これは仕事にも繋がる話だと思えます。青年部活動は楽しい!大いに結構ですが、学びを得て楽しい!そして、学びが家業に生きている!ここまですれば本物です。

たけまるの県青連コラム今回もありがとうございました。

追伸 全国商工会青年部連合会実態調査、単会の皆様に完璧なるご協力を頂きましてありがとうございます。ありがとうございました。

県青連理事 (株) 芦葉建設 芦葉 武尊



関東大会優勝した菖蒲商工会青年部のメンバーと菖蒲パンキー

### お知らせ

- 11月4日(金) 野球交流試合 (ひばりヶ丘球場)
- 11月7日(月) サッカー部 練習 (アスカル幸手)
- 11月17日(木) 東日本大震災 現地支援ボランティア事業
- 11月23日(水) 青年部ゴルフコンペ (ゴルフデンレイクス)
- 11月24日(木) サッカー部 練習 (アスカル幸手)
- 12月22日(木) 青年部クリスマスパーティー

We Love 幸手 青年部員募集!!

当青年部ではこの町と一緒に愛する仲間を募集しております

0480-433830

担当 西山

### 編集後記

今年の市民まつりに私はキッズチャレンジという子供向けアトラクションを担当させていただきました。

そのアトラクションには日本保健医療大学の学生と幸手商業の高校生手伝いに来ていただき、私の想像以上の働きをみせていただきました。両学生の皆様、暑い中ありがとうございました。お手伝いして頂いた幸手商業高校では11月5日、日本保健医療大学では11月26日、27日に学園祭がありますので、お時間のある方はぜひ参加してみてください。

総務副委員長 岩上歯科医院 岩上 徳志

### 幸手市商工会青年部通信

第3号 (通算55号)

平成23年11月1日(火)発行  
幸手市商工会青年部  
発行者 石塚 輝実  
編集 総務委員会

商工会ホームページ (携帯、PC対応)

